

## 「剛志学府」境西中学校区連携協議会開催

令和元年11月21日に令和元年度境西中学校区連携協議会が開催されました。今回は第3回境西中学校運営協議会を兼ねて、境剛志小学校評議員会と合同の会議となりました。

石原会長から、「これまで中学校運営協議会で、課題等を検討していてもなかなか何もできず歯がゆい思いをしているところですが、本日は境剛志小学校の評議員さんも交え、大きい組織で検討していただくということで、地域に貢献できるような協議できたらと思います。どうぞよろしくご協議お願いします。」とのあいさつをいただきました。



### 1. 学府について 関上係長（伊勢崎市教育委員会生涯学習課）

学府とは、学校と地域が連携し理想の子供を育てていこうとする教育コミュニティのことです。公民館が中心となって取り組んでいる例もあり、夏休み中に中学生が小学生に勉強を教えたり、高校生が書道を教えたりなどの事業をしているところや、ふれあい音楽教室で楽器演奏を教えたりしているところもあります。これらを参考にさせていただき今後とも子供達のためにご協議をお願いします。



### 2. これまでの取組について 須藤境剛志小学校長

剛志小学校では今年は「剛志の歌」を中心に総合的な学習の時間を組み直し、子供達が地域を知ることにおき学習しています。また、地域の人材の名簿作りにも取り組み始めました。

小島) 剛志公民館で米寿祝賀会を行ったところ、アトラクションで音楽バンドが「剛志の歌」を歌ってくれました。地域にも浸透してきていると思いました。



### 3. これまでの取組とコミュニティ・スクールについて 田島境西中学校長

西中学校では2年生が自分たちが植え育てたゴボウの収穫を行いました。甘九郎ごぼうを作っている田部井さんにお話しいただき、調理実習で自分たちが育てたゴボウと甘九郎との食べ比べをしました。甘九郎ごぼうのすごさを感じることができました。これまでに「西中生がつくる弁当の日」は3回行いました。小中連携の事業として、文化祭で剛志小4年生に歌の発表をしてもらい、6年生には文化発表などをみてもらいました。また公民館事業として行われた小学生対象の「お弁当作りの教室」に美術部生徒が参加し、弁当作りを手伝いました。

11月3日には剛志学府主催で食育映画「いただきます」「その後のはなちゃんのみそ汁」の上映会を剛志公民館で行いました。バレエ部や美術部の生徒が運営に協力してくれ、地域の方をはじめ58名が参加しました。来年1月には「お絵かきホットケーキ」教室を剛志小で計画しています。剛志公民館には、小中学校の展示ブースを作っていたいてあり、来館した地域の方々に見てもらえるようになっています。

須藤) 映画の上映会では予想より観客が少なかったと反省しています。参加してもらうことで地域のコミュニケーションになるのだということを、小学校でももう少しアピールすることが必要だったと思いました。 「お弁当作り教室」公民館主催  
石原) 食生活改善推進委員会等の団体にも参加を呼びかければよかったかと思いました。

### 4. 学校・家庭・地域が目指す子ども像（目標）について

剛志地区の子供達は優しくおとなしい子が多いので、剛志地区から出ても自律して活躍できる子供達の理想像として、地域像として決定した。

目指す子供像：自ら考え、判断し、決定し、行動する子供  
理想の地域像：「自律」した大人が暮らすまち

### 5. 学校と地域の協働について

部会別協議（地域課題検討部会・学校課題検討部会）

#### ○地域課題検討部会（座長：石原会長）

中学校で子供達の余暇についてアンケートもしていただいたが、その結果にまだ1つも答えていないのが現状で、余暇について子供達も忙しい中ではあるがこれから相談し、実行していきたい。

#### ○学校課題検討部会（座長：須藤校長）

先日の台風で小学校の体育館が避難所になり、水害に対する対応や施設の不十分なところが分かったり、高齢者の非難の在り方などが浮き彫りになったりしました。災害時には自らの安全確保を最優先にしながら、中学生も手を貸せるところを検討していきたい。また田島弥平旧宅でのイベントを考えるなど町おこしをしていくことを検討していきたい。

終わりに須藤校長から「小中合同の会議は人数も多く心強い。コミュニケーションもとれるようになり、活動の場も豊富になったと思います。今後も連携し剛志地区の子供達を育てていきたい。」との 「西中生がつくる弁当の日」あいさつをいただき、閉会しました。

※「剛志学府」の名称をより広めるため、「剛志学府」だよりに変更しました。